

2025(令和7)年度 募集要項

## 栄養科学研究科 栄養科学専攻

- 一般入学試験
- 社会人入学試験

相模女子大学大学院

大学事務部 入試課

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1

TEL. ☎0120-816-332

042-749-5533

FAX. 042-742-1732

URL [www.sagami-wu.ac.jp](http://www.sagami-wu.ac.jp)

## 目 次

栄養科学の明日を拓く人材を育成します。……………	1
Ⅰ. 栄養科学研究科 栄養科学専攻 ……………	2
Ⅱ. 教職課程(栄養教諭専修) ……………	9
入学試験要項	
1. 入学定員および募集人員等 ……………	14
2. 入試日程等 ……………	15
選考方法(一般および社会人) ……………	15
3. 出願資格 ……………	16
4. 事前面談 ……………	17
5. 出願書類等 ……………	17
6. 受験上の注意 ……………	18
7. 合格発表について……………	23
8. 入学手続きについて ……………	23
9. 個人情報の取り扱いについて ……………	25
別紙	
入学試験出願資格認定申請書[博士前期・後期課程 共通]	
事前面談票[博士前期・後期課程 共通]……………	様式1
研究計画書概要[博士前期課程]……………	様式2
修士論文の概要[博士後期課程]……………	様式3
研究経過報告書[博士後期課程]……………	様式4
研究計画書[博士後期課程]……………	様式5

### アドミッションポリシー〔入学者受入れの方針〕

#### 栄養科学研究科 博士前期課程

栄養科学をより深く学びたい学部新卒者、社会人を受け入れる。栄養科学についての一層の高度な専門知識を身に付けることで、実務に生かし、社会への還元を目指している者を望む。入学しようとする者は、特別研究における研究計画を立案し、指導教員に承認を得ることを要件とする。

#### 栄養科学研究科 博士後期課程

栄養科学分野の研究において業績あるいは基礎力を有し、より高度に専門分野の研究を遂行しようとする者を受け入れる。栄養科学分野の研究を通して高度な専門知識と研究能力を身に付け、社会貢献を目指している者を望む。入学しようとする者は、指導を受けようとする専門分野の教員と十分な協議により研究計画を立案していることを要件とする。

## 栄養科学の明日を拓く人材を育成します。

相模女子大学は、我が国で最も歴史ある管理栄養士・栄養士養成校のひとつであり、毎年300名以上の管理栄養士・栄養士を輩出しています。さらに、少子高齢化、社会構造・疾病構造の変化、そして食の多様化や食の安全をめぐる問題などがクローズアップされている現在、食や栄養に関する高度で専門的な知識を有し、またその専門性を活かした情報発信のできる人材が各方面から求められています。

このような時代の要請を見据え、本学の大学院栄養科学研究科は、栄養科学に関連する高度な専門知識と研究能力、およびリーダーシップを備えた人材を育成するために創設されました。本研究科に設置されている専攻分野は、栄養生理、病態栄養、保健栄養、食品栄養の4領域です。各領域では、それぞれの専門研究分野で活躍する教員が熱意をもって教育、研究指導に当たっています。大学院生は栄養科学に関連する幅広い知識を学ぶとともに、自らの学問的興味をもとに研究テーマを設定し、専門的な文献講読や、高度な技能を用いての調査や実験に取り組むことになります。博士前期課程では、2年間の専門教育と特別研究の論文審査により修士（栄養科学）の学位を取得でき、また所定の単位を修めれば栄養教諭の専修免許状を取得できます。博士後期課程では、3年間の特別研究を経て、より高度な研究評価を求める論文審査に合格することで博士（栄養科学）の学位が与えられます。学位修得後は、医療、保健・衛生、福祉、教育、研究・開発など多くの分野での活躍が期待され、これまでに多くの修士・博士が社会に羽ばたいております。

本研究科では、社会人の入学にも配慮して入試や講義の時間を設定しているほか、長期履修制度も利用できるため、働きながら学ぶことが可能です。また、管理栄養士・栄養士以外の方や男性も本研究科の大学院生となることができます。

学部で学んだ知識や働く現場での経験を裏付ける専門的知識、今後の栄養科学の発展に寄与できる新しい知見などを、本研究科で自分で見つけ・育てる経験をしていただくことを教員一同楽しみにしております。

# I. 栄養科学研究科 栄養科学専攻

## 1. 研究科・専攻

本研究科の理念は、豊かな人間性と高い倫理観を持ち、栄養科学の知識を基に人々の健康増進と疾病の予防・治療に貢献できる人材を育成することにあります。ここでは、生命科学の領域を基盤とする栄養関連科目を中心に置いた特色ある教育を展開しています。これにより、生命科学という深い視点から栄養学を学び直すこと、また栄養科学という新しい視点から他の研究分野を見つめ直すことができます。

## 2. 教育目標

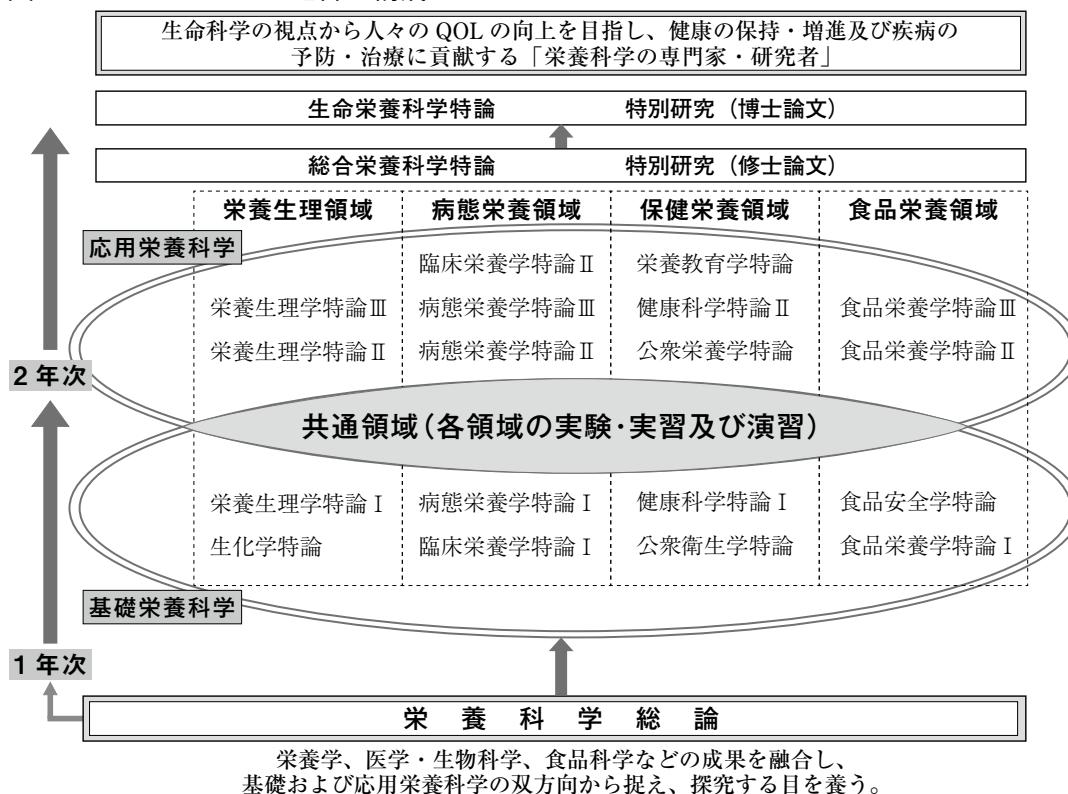
博士前期課程では、生命科学に視点をおいた栄養科学を教育、研究することで、高度な専門知識を有する職業人としての栄養士・管理栄養士や栄養科学の知識やスキルを他の分野や職業で活かせる人材を育成するとともに、大学等教育機関においてそれらの教育を担うことができる人材を育成することを目的とします。

博士後期課程では、研究機関や地方自治体、病院・福祉施設等において生命科学と栄養学の専門知識を持ち、栄養教育のできる指導者の育成、ならびに大学や大学院において独立して生命科学や栄養学の研究・教育のできる人材を育成することを目的とします。

## 3. カリキュラムの趣旨と構成

本研究科では、「栄養科学を栄養学、医学・生物科学、食品科学などの成果を融合する学問領域と捉え、それを総合的、体系的に真摯に探究する目を養う」ことを目的とし、栄養科学の基礎領域から専門領域へ発展的に移行できるように科目を配当しています（図1）。

●図1 カリキュラムの趣旨と構成



博士前期課程では、4つの領域「栄養生理領域」「病態栄養領域」「保健栄養領域」「食品栄養領域」で修得した栄養科学の知識と技術に立脚した研究を、博士後期課程では、「生命栄養科学領域」を一つの領域として教育を行うとともに博士論文となる先端的かつ国際的レベルでの研究に取り組みます。

博士前期課程の教育課程に含まれる授業科目は、「基礎科目」、「専門科目」及び「総合科目」より構成されています（表1）。「基礎科目」は導入科目として設定されており、本研究科の特色と生命科学教育の基礎知識を習得するためのもので、「栄養科学総論」としてオムニバスの講義形式で行われます。「専門科目」は本研究科の主体となる科目であり、教育・研究領域により、栄養生理領域、病態栄養領域、保健栄養領域、食品栄養領域の4領域に区分されます。各領域は「基礎栄養科学」および「応用栄養科学」に分けた多彩な授業科目より構成されます。「総合科目」は「総合栄養科学特論」と「特別研究」で構成されます。「総合栄養科学特論」は、本研究科で取り組んでいる研究に関連した最新の研究成果を学ぶ場として、学内外の研究者による講演会を予定しています。「特別研究」は、それぞれの指導教員による研究指導により修士論文あるいは課題研究を作成する履修科目です。

博士後期課程は上記の教育内容を基本として、総合的な専門教育を目標として総合科目の「生命栄養科学特論」を1年次春学期に履修し、「特別研究（博士論文）」に邁進することになります。

表1 教育課程の編成と授業科目

教育領域		栄養生理領域	病態栄養領域	保健栄養領域	食品栄養領域
基礎科目		栄養科学総論			
専門科目	基礎栄養科学	生化学特論 栄養生理学特論Ⅰ	臨床栄養学特論Ⅰ 病態栄養学特論Ⅰ	公衆衛生学特論 健康科学特論Ⅰ	食品栄養学特論Ⅰ 食品安全学特論
	応用栄養科学	栄養生理学特論Ⅱ 栄養生理学特論Ⅲ	病態栄養学特論Ⅱ 病態栄養学特論Ⅲ 臨床栄養学特論Ⅱ	公衆栄養学特論 健康科学特論Ⅱ 栄養教育学特論	食品栄養学特論Ⅱ 食品栄養学特論Ⅲ
	共通領域	生化学実験・実習		健康栄養学演習	食品安全学実験・実習
総合科目		総合栄養科学特論 特別研究（修士論文）			
		生命栄養科学特論 特別研究（博士論文）			

## 4. 履修

### (a) 単位の取得について

博士前期課程の修了に要する単位は、基礎科目2単位及び総合科目12単位の必修単位と選択必修の専門科目の中から16単位を合わせて30単位以上を修得するものとします(表2)。

博士後期課程の修了に要する単位は、総合科目の生命栄養科学特論2単位と特別研究(博士論文)14単位の合計16単位を修得するものとします(表3)。

### (b) 「特別研究(修士論文)」の履修

次の2つの場合があります。

#### ① 提出論文題目についての研究成果の審査の場合

入学時に指導教員を決定した上、修士論文の題目を提出し、研究科委員会の承認を経て、年間を通して研究題目に則して研究を行います。この間に、研究室での研究報告会やセミナー、中間報告会にて随時研究の経過発表を行い、各セメスター終了時には進捗状況を研究科委員会に報告します。2年次秋学期には、修士論文としてまとめます。修士論文の審査は、主査1名と副査2名以上によって行われ、また、最終試験を兼ねた修士論文発表会にて発表します。それらに合格した者には「修士(栄養科学)」の学位が授与されます。

#### ② 特定の課題についての研究成果の審査の場合

この方法による「特別研究」の指導を受ける者は、社会人入学試験によって入学を許可された学生とします。入学時に指導教員を決定した上、課題研究の題目を提出し、研究科委員会の承認を経て、2年間を通して課題研究の題目に則して研究を行います。この間に、研究室での研究報告会やセミナー、中間報告会にて随時研究の経過発表を行い、1年終了時に進捗状況を「課題レポート」として研究科委員会に報告します。2年次秋学期には、課題研究論文としてまとめます。課題研究論文の審査は、主査1名と副査2名以上によって行われ、また、最終試験を兼ねた修士論文発表会にて発表します。それらに合格した者には「修士(栄養科学)」の学位が授与されます。

### (c) 「特別研究(博士論文)」の履修

#### ① 審査について

入学時に指導教員を決定した上、博士論文の題目を提出し研究科委員会の承認を経て、年間を通して研究題目に則して研究を行います。この間に、研究室での研究報告会やセミナー、中間報告会にて随時研究の経過発表を行い、各セメスター終了時には進捗状況を研究科委員会に報告します。博士論文の審査は、主査1名と副査2名以上によって行われ、また最終試験を兼ねた博士論文発表会を開催し、提出された論文の最終的な合否の判定を行います。合格者には「博士(栄養科学)」の学位が授与されます。

#### ② 学位論文審査申請について

博士後期課程に3年間以上在籍し、学位論文を提出する学生に対しては、学位審査規程内規第2条第2項の規定に基づいて審査を行います。また、特に1年又は2年で修了できる「成績優秀」の基準については、学位審査規程内規第2条第3項①又は②に基づいて審査を行います。

## 5. 特記事項

### (a) 修業年限

博士前期課程の標準修業年限は原則2年としますが、修業年数が2年を超える場合においても、在学年数は4年を超えることはできません。

博士後期課程の標準修業年限は原則3年としますが、修業年数が3年を超える場合においても、在学年数は6年を超えることはできません。

### (b) 長期履修制度

職業を有しているなどの事情により、勉強時間の確保が困難な場合に限り、長期履修制度を利用することができます。これは、定められた修業年限にかかわらず、入学から修了までの期間を長期に設定して履修することができる制度です。この場合、博士前期課程は3年または4年、博士後期課程は4年、5年または6年が修業年限となります。

### (c) 履修指導及び研究指導の方法

本研究科では社会的実務能力を修得するに当たり、本学学部に開設している授業科目の履修（科目等履修生\*）が可能です。

#### \* 科目等履修生

= 本学の大学・短大で開講されている授業科目を履修し、単位を修得する制度です。  
(検定料・登録料・履修料等の諸費用が必要です。)

<問い合わせ先>

大学事務部 学修・生活支援課（マーガレット本館1階）

## 6. カリキュラム表

表2 栄養科学研究科 栄養科学専攻（博士前期課程）

授業科目		授業形態	配当年次	単位	卒業単位	栄養教諭専修	
基礎科目	栄養科学総論	講義	1	2	必修	必修	
専門科目	栄養生理領域	栄養生理学特論Ⅰ	講義	1	2	4単位必修	○
		栄養生理学特論Ⅱ	講義	2	2		○
		栄養生理学特論Ⅲ	講義	2	2		
		生化学特論	講義	1	2		○
		生化学実験・実習	実験実習	1	1		
	病態栄養領域	臨床栄養学特論Ⅰ	講義	1	2	4単位必修	○
		臨床栄養学特論Ⅱ	講義	2	2		
		病態栄養学特論Ⅰ	講義	1	2		○
		病態栄養学特論Ⅱ	講義	2	2		○
		病態栄養学特論Ⅲ	講義	2	2		
	保健栄養領域	公衆衛生学特論	講義	1	2	4単位必修	必修
		公衆栄養学特論	講義	2	2		必修
		健康科学特論Ⅰ	講義	1	2		必修
		健康科学特論Ⅱ	講義	2	2		
		栄養教育学特論	講義	2	2		必修
		健康栄養学演習	演習	1	1		必修
	食品栄養領域	食品栄養学特論Ⅰ	講義	1	2	4単位必修	○
		食品栄養学特論Ⅱ	講義	2	2		○
食品栄養学特論Ⅲ		講義	2	2			
食品安全学特論		講義	1	2	必修		
食品安全学実験・実習		実験実習	2	1	必修		
総合科目	総合栄養科学特論	講義	1	2	必修	必修	
	特別研究（修士論文）	演習	1～2	10	必修		
修了に要する単位数					30	24	

○のついた科目のうち、保健栄養領域以外の各領域から2単位以上、8単位選択必修

表3 栄養科学研究科 栄養科学専攻（博士後期課程）

授業科目		授業形態	配当年次	単位数	修了要件
総合科目	生命栄養科学特論	講義	1	2	必修
	特別研究（博士論文）	演習	1～3	14	必修
修了に要する単位数				16	
博士後期課程の修了要件及び履修方法					
<p>●博士後期課程の修了に要する単位は、総合科目の「生命栄養科学特論」2単位を修得し、かつ、「特別研究（博士論文）」14単位を併せて合計16単位を修得する必要がある。「特別研究（博士論文）」の履修・提出等については相模女子大学大学院学則に定めるところによる。</p>					



## 7. 履修モデル

### ●博士前期課程履修モデル

「専門科目」の履修は、教育効果の視点と卒業後の進路や学生の興味・関心に対応して以下の3つの履修モデルを参考に行います。

#### ① 履修モデル1

本履修モデルは、民間及び公的な試験・研究機関に不足している、栄養の専門知識および生命科学の知識を得た研究者・技術員を養成することを特徴として、栄養生理領域と病態栄養領域の科目を主としています。

##### ●民間及び公的な試験・研究機関の研究者・技術員の養成を目指すモデル

基礎科目	専門科目	総合科目
栄養科学総論 (2)	生化学特論 (2) 栄養生理学特論Ⅲ (2) 生化学実験・実習 (1) 病態栄養学特論Ⅰ (2) 病態栄養学特論Ⅱ (2) 公衆衛生学特論 (2) 健康科学特論Ⅰ (2) 食品安全学特論 (2) 食品栄養学特論Ⅲ (2) 食品安全学実験・実習 (1)	総合栄養科学特論 (2) 特別研究 (修士論文) (10)
2単位	18単位	12単位

#### ② 履修モデル2

本履修モデルは、現代の高齢化社会にあって、地方自治体や病院・福祉施設等で、病気の予防と健康の増進を踏まえた栄養計画の専門指導者を養成することを特徴として、病態栄養領域と保健栄養領域の科目を主としています。

##### ●地方自治体や病院・福祉施設等の栄養計画指導者の養成を目指すモデル

基礎科目	専門科目	総合科目
栄養科学総論 (2)	栄養生理学特論Ⅱ (2) 栄養生理学特論Ⅲ (2) 臨床栄養学特論Ⅰ (2) 病態栄養学特論Ⅲ (2) 公衆衛生学特論 (2) 健康科学特論Ⅰ (2) 食品安全学特論 (2) 食品栄養学特論Ⅱ (2)	総合栄養科学特論 (2) 特別研究 (修士論文) (10)
2単位	16単位	12単位

#### ③ 履修モデル3

本履修モデルは、新規食品の開発や研究、及び食について環境の視点から研究・実践指導する者を養成することを特徴として、食品栄養領域と保健栄養領域の科目を主としています。

##### ●食品産業や環境関連分野における研究・実践指導者の養成を目指すモデル

基礎科目	専門科目	総合科目
栄養科学総論 (2)	生化学特論 (2) 栄養生理学特論Ⅰ (2) 生化学実験・実習 (1) 臨床栄養学特論Ⅱ (2) 病態栄養学特論Ⅱ (2) 公衆栄養学特論 (2) 健康科学特論Ⅱ (2) 食品栄養学特論Ⅰ (2) 食品安全学特論 (2) 食品安全学実験・実習 (1)	総合栄養科学特論 (2) 特別研究 (修士論文) (10)
2単位	18単位	12単位

## ●特別研究(博士前期課程・後期課程)

### 領域別研究テーマ

出願時に指導教員と事前面談を行い、研究テーマについて話し合い「研究計画書概要」を提出します。領域別に指導教員の研究テーマの例を示してありますが、入学希望者は余裕を持って指導教員と相談することが必要です。

#### 栄養生理領域

- ヒト由来膜結合型プロテアーゼの生理機能と病態形成機構の解明に関する研究【奥村 裕司】
- プロテアーゼ阻害栄養素(阻害因子)を基盤とした疾病予防・治療に関する研究【奥村 裕司】
- 食品成分と細胞の分化に関する研究【黒岡 尚徳】
- 運動中に生じる脳・脊髄の疲労メカニズムに関する研究【笹田 周作】
- 味覚メカニズム及び食の学習と脳内メカニズムに関する研究【樋川 直司】
- 特殊環境におけるスポーツ活動時の栄養補給に関する研究【柳沢 香絵】
- ジュニアアスリートの栄養補給に関する研究【柳沢 香絵】
- 身体活動量の評価とその活用に関する研究【吉田 明日美】

#### 病態栄養領域

- 骨粗しょう症におけるエピジェネティック修飾に関する研究【嶋田 昌子】
- 生活習慣病に関する基礎及び臨床的研究【嶋田 昌子】
- 口腔環境の改善を目的とした基礎及び臨床的研究【吉野 陽子】
- NST(栄養サポートチーム)活動の現状に関する研究【望月 弘彦】
- 栄養療法による各種栄養評価指標の変化に関する研究【望月 弘彦】
- 嗜好品の過剰摂取による生活習慣病への影響【水上 由紀】
- 臨床栄養管理及び栄養食事指導に関する研究【今井 敦子】
- 母体の栄養環境が出生子に及ぼす影響に関する研究【今井 敦子】

#### 保健栄養領域

- 食習慣と健康との関連に関する観察研究【落合 裕隆】
- 健康関連ビッグデータを活用した疾病予防に関する疫学研究【落合 裕隆】
- 保育施設の食支援に関する観察研究・介入研究【片平 理子】
- 生活環境における物理的因子が健康に及ぼす影響に関する研究【榎本 ヒカル】
- 行動科学理論に基づいた栄養教育・食育に関する実践的研究【吉岡 有紀子】
- 給食施設における栄養管理に関する研究【縄田 敬子】
- 栄養・食生活と健康との関連に関する研究【猿倉 薫子】

#### 食品栄養領域

- 現代人の乱れた食生活が生体機能に及ぼす影響【大荒田 素子】
- 食品に含まれる機能性成分による遺伝子に与える影響【鶴崎 美徳】
- 食品の加工に伴う栄養機能の変化に関する研究【坂野 麻里子】
- 健康長寿に関わる食事要因と遺伝要因に関する研究【坂野 麻里子】

## Ⅱ. 教職課程（栄養教諭専修）

### 1. 教育目標

本学の大学院は、生命科学の研究領域を中心的な学問分野とした特色ある栄養教育を行い、高度な生命科学の知識とともに、実践的な専門能力を身に付けた栄養教諭（専修）を養成することを目的としています。

### 2. 本研究科で取得可能な免許状種類

栄養科学研究科 栄養科学専攻 博士前期課程 栄養教諭専修免許状

### 3. 教育職員免許状取得のための基礎資格と必要単位数

免許状の種類	所要資格	基礎資格	研究科における最低修得単位数
			栄養に係る教育又は教職に関する科目
栄養教諭専修免許状		修士の学位を有すること及び 管理栄養士の免許を受けていること	24

### 4. 履修について

#### (1) 履修条件

栄養教諭一種免許状を取得していることを条件とします。

#### (2) 修得単位

栄養教諭専修免許状を取得するには、別表（表4）に定める「栄養に係る教育に関する科目」から24単位を修得しなければなりません。

#### (3) 基礎資格

栄養教諭専修免許状を取得するには、別表（表4）に定める単位の修得の他、基礎資格として、修士の学位と管理栄養士免許が必要です。

### 5. 免許状の申請および手続きについて

免許状は、取得条件をすべて満たした後、居住する都道府県教育委員会に個人申請することにより授与されます。この場合、申請様式が都道府県によって異なりますので、申請先となる教育委員会に確認してください。なお、申請に係る費用は自己負担となります。

表4 栄養に係る教育に関する科目（栄養教諭専修）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する本学授業科目			備 考
	授業科目	単位数		
		必修	選択	
栄養に係る教育に関する科目	栄養科学総論	2		・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項 ・食に関する指導の方法に関する事項
	栄養生理学特論Ⅰ		2	・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項
	栄養生理学特論Ⅱ		2	・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項
	生化学特論		2	・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項
	臨床栄養学特論Ⅰ		2	・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項
	病態栄養学特論Ⅰ		2	・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項
	病態栄養学特論Ⅱ		2	・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食に関する指導の方法に関する事項
	公衆衛生学特論	2		・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項
	公衆栄養学特論	2		※8単位選択必修 ・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項 ・食に関する指導の方法に関する事項
	健康科学特論Ⅰ	2		・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項 ・食に関する指導の方法に関する事項
	栄養教育学特論	2		・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項 ・食に関する指導の方法に関する事項
	健康栄養学演習	1		・食生活に関する歴史的及び文化的事項 ・食に関する指導の方法に関する事項
	食品栄養学特論Ⅰ		2	・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項
	食品栄養学特論Ⅱ		2	・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項
	食品安全学特論	2		・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項
	食品安全学実験・実習	1		・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項
総合栄養科学特論	2		・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項 ・食に関する指導の方法に関する事項	
最低必要単位数合計		24		

備考は、教育職員免許法施行規則に定められた「栄養に係る教育に関する科目」に含むべき事項を表します。

栄養科学研究科長	黒岡尚徳
----------	------

教育領域	指導教員	前期課程	後期課程
栄養生理領域	奥村 裕司 教授	◎	◎
	黒岡 尚徳 教授	◎	◎
	笹田 周作 教授	◎	◎
	樋川 直司 教授	◎	○
	柳沢 香絵 教授	◎	
	吉田 明日美 専任講師	○	
病態栄養領域	嶋田 昌子 教授	◎	◎
	吉野 陽子 教授	◎	○
	望月 弘彦 准教授	◎	
	水上 由紀 教授	○	
	今井 敦子 専任講師	○	
保健栄養領域	落合 裕隆 教授	◎	◎
	片平 理子 教授	◎	○
	榎本 ヒカル 教授	◎	
	吉岡 有紀子 教授	◎	
	猿倉 薫子 准教授	○	
	縄田 敬子 准教授	○	
食品栄養領域	大荒田 素子 教授	◎	◎
	鶴崎 美徳 教授	◎	◎
	坂野 麻里子 准教授	◎	

◎ 指導担当教員 ○ 指導補助担当教員

\* 出願する場合には指導教員との事前面談が必要です。詳しくはP.17「4 事前面談」をご覧ください。



2025(令和7)年度

博士前期課程 I期・II期日程

博士後期課程 I期・II期日程

## 入学試験要項

## 1 入学定員および募集人員等

課程	研究科	専攻	入学定員	取得学位
博士前期課程	栄養科学研究科	栄養科学専攻	6名	修士（栄養科学）
博士後期課程	栄養科学研究科	栄養科学専攻	2名	博士（栄養科学）

本大学院における募集人員と入学試験実施月は以下のとおりです。

博士前期課程	募集人員	入試月
一般入学試験、社会人入学試験	若干名	I期<9月>
	若干名	II期<2月>

博士後期課程	募集人員	入試月
一般入学試験、社会人入学試験	若干名	I期<9月>
	若干名	II期<2月>

### 修業年限および在学年限

博士前期課程の標準修業年限は2年とする。在学年数は4年を超えることはできない。

博士後期課程の標準修業年限は3年とする。在学年数は6年を超えることはできない。

### 課程の修了要件

栄養科学研究科（博士前期課程）においては、2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ修士論文の審査および最終試験に合格した者に「修士（栄養科学）」学位を授与する。

栄養科学研究科（博士後期課程）においては、16単位以上を修得し、かつ博士論文の審査および論文の合否判定に合格した者に「博士（栄養科学）」の学位を授与する。



## 2 入試日程等

### 博士前期課程・後期課程 共通

日 程	I 期	II 期
出願期間	9月17日(火)～9月24日(火) 必着 最終日窓口受付：9月24日(火)15時まで	1月17日(金)～1月28日(火) 必着 最終日窓口受付：1月28日(火)15時まで
試 験 日	9月28日(土)	2月5日(水)
試験会場	相模女子大学キャンパス	相模女子大学キャンパス
合格発表	10月5日(土)	2月8日(土)

- 選考方法 下記の筆記試験、面接および成績証明書等提出書類を総合して判定します。

### 博士前期課程

#### [一般入学試験]

	内容	試験時間		
外国語	英語 辞書持ち込み可(電子辞書を除く)	9:30～10:30		
専門科目	研究指導を受ける領域(栄養生理・病態栄養・保健栄養・食品栄養)を研究計画書概要に明示し、その領域から出題された問題を解答(領域の専門科目例は下表)		11:00～12:00	
面 接	個人面接			筆記試験終了後

下表

研究領域	専 門 科 目 例
栄養生理	解剖生理学、生化学、基礎栄養学、応用栄養学
病態栄養	臨床栄養学
保健栄養	公衆栄養学、栄養教育学、公衆衛生学
食品栄養	食品学、食品衛生学

#### [社会人入学試験]

	内容	試験時間		
小論文	論題形式(2,000字程度)	11:00～12:30		
面 接	個人面接(基礎知識に関する設問含む)			筆記試験終了後

### 博士後期課程

#### [一般入学試験・社会人入学試験] 共通

	内容	試験時間		
外国語	英語	9:30～10:30		
面 接	個人面接(専門領域の内容を含む口頭試問・質疑応答)			筆記試験終了後

### 3 出願資格

#### 博士前期課程

出願できる者は、次のいずれかに該当する者（男子も含みます）とします。

- (1) 学校教育法第52条に定める大学を卒業した者及び2025（令和7）年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または、2025（令和7）年3月までに修了見込みの者。
- (3) 22歳に達した者、または、2025（令和7）年4月1日までに22歳に達する者で、本大学院栄養科学研究科の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。ただし、出願資格審査を希望する者は、事前に入試課へ連絡すること。（管理栄養士資格を取得している者や学会・研究会等での発表経験がある者などが該当します）

上記のいずれかの条件に該当する社会人で、企業、国または地方公共団体、学校法人等に勤務している場合は、その身分を有したまま大学院学生となることを所属長から許可された者。

#### ※出願資格審査について

出願資格（3）で出願を希望する者の手続きは、入試課へ出願の旨を連絡後、出願に必要な書類一式を出願受付日の1週間前必着で、持参または簡易書留で送付してください。本大学院栄養科学研究科委員会にて書類審査を行い、出願資格の可否を出願受付日までに本人宛に連絡します。その後、入学選考試験に出願手続をすることができます。

#### 博士後期課程

出願できる者は、次のいずれかに該当する者（男子も含みます）とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2025（令和7）年3月までに取得見込みの者。
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025（令和7）年3月までに学位を取得見込みの者。
- (3) 24歳に達した者、または、2025（令和7）年4月1日までに24歳に達する者で本大学院栄養科学研究科の出願資格審査により、大学院博士前期課程を修了した者と同等以上の学力があると認められた者。ただし、出願資格審査を希望する者は、事前に入試課へ連絡すること。（※出願資格審査については、上記を参照）

上記のいずれかの条件に該当する社会人で、企業、国または地方公共団体、学校法人等に勤務している場合は、その身分を有したまま大学院学生となることを所属長から許可された者。

## 4 事前面談

博士前期課程、博士後期課程 共通

出願する場合には、事前に希望の「特別研究」指導教員と必ず面談を行い、研究内容などについて相談をしてください。その際には「事前面談票」（様式1）を用いてください。出願時の提出書類「研究計画書概要」（様式2）には指導教員の署名および捺印が必要です。

事前面談については、下記メールにてお問い合わせください。

eiyoukagaku@star.sagami-wu.ac.jp

## 5 出願書類等

出願はWEB（インターネット）出願となります。出願手順については19ページ以降を参照してください。WEB出願登録、検定料のお支払いの後、志願票を出力し、下記の書類を同封の上、各試験日ごとに設定されている出願期間内に提出してください。WEB出願登録のみでは「出願」になりません。提出書類が本学に届いた時点で「出願」となりますのでご注意ください。

[提出先] 〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1 相模女子大学 大学事務部 入試課

[提出方法] 簡易書留もしくは窓口持参(これ以外の方法で提出された場合の事故については、一切責任を負いません)

(受付時間) 午前9時～午後5時(平日)

\* 出願期間最終日は午後3時までです。

\* 土曜日については、本学ホームページの窓口開室カレンダーをご確認ください。

\* 日曜・祝日は受け付けておりません。

### 博士前期課程

- ①大学院志願票（WEB出願に登録し、検定料入金後に出力が可能となります）
- ②研究計画書概要（本学所定の様式（様式2））
- ③最終在学校の卒業証明書または卒業見込み証明書（出願前3ヶ月以内に作成されたもの）
- ④成績証明書（出願前3ヶ月以内に作成されたもの）

\* 証明書の姓と現在の姓とが異なる場合は、改姓を証明するために戸籍抄本が必要です。

\* 社会人の方は上記に加え、[共通事項]に記載されている書類もご提出ください。

### 博士後期課程

- ①大学院志願票（WEB出願に登録し、検定料入金後に出力が可能となります）
- ②最終在学校の卒業・修了証明書または卒業・修了見込み証明書（出願前3ヶ月以内に作成されたもの）
- ③最終在学校の成績証明書（出願前3ヶ月以内に作成されたもの）
- ④修士論文等

(a) 修士課程または博士前期課程を修了した者：修士論文の概要（2,000字程度）をA4判の用紙に記入し、本研究科所定の用紙（様式3）を表紙として提出してください。なお、修士課程または博士前期課程を修了後に研究歴のある者はそれらの研究内容も含めてください。

(b) 修士課程または博士前期課程を修了見込みの者または出願資格申請者：研究経過報告書（2,000字程度）をA4判の用紙に記入し、本学所定の用紙（様式4）を表紙として提出してください。

## ⑤研究計画書

2,000 字程度で、どのような分野でどのような内容の研究をしようとしているのかが分かるように A4 判の用紙に記入し、本学所定の用紙（様式 5）を表紙として提出してください。

- \* 証明書の姓と現在の姓とが異なる場合は、改姓を証明するために戸籍抄本が必要です。
- \* 社会人の方は上記に加え、[共通事項]に記載されている書類もご提出ください。

### [共通事項]

- ・ 社会人の方は、以下の書類もご提出ください（①②は企業、国または地方公共団体、学校法人等に勤務している方）。
  - ①受験および就業承諾書（様式任意。ただし入学後、学業に専念させる旨の記載のあるもの）
  - ②在職証明書（様式任意）
  - ③職務および社会活動歴報告書（様式任意）
- ・ WEB 出願の際、顔写真データが必要となります（詳しくは本学ホームページ「WEB 出願について」をご確認ください）。
- ・ 検定料は 35,000 円です。支払いは、コンビニエンスストア、ネットバンキング、クレジットカードが利用できます（詳細は「WEB 出願の流れ」をご確認ください）。
- ・ 外国人については、出願資格の他、公益財団法人日本国際教育支援協会が実施している日本語能力試験の N 1 レベル（旧 1 級）合格者または同等程度の日本語能力がある者という条件が加わります。出願書類の他に日本語能力試験の「認定結果及び成績に関する証明書（成績証明書）」を提出してください。また、在留資格の証明も必要となります。
- ・ 本学大学を卒業または卒業見込みの方は事前に入試課（0120-816-332）までご連絡ください。
- \* 出願書類は本学ホームページよりダウンロードの上、ご提出ください。

## 6 受験上の注意

### [受験票について]

**大学から郵送は致しませんのでご注意ください。**本学にて願書処理後、出願期間終了後から試験前日までに受験票を配信します（WEB 出願サイトのマイページに登録したアドレスへメールで通知します）。WEB 出願サイトのマイページより受験票をダウンロードし、**必ず印刷し、内容を確認してください。**間違いがある場合は入試課までご連絡ください。

- \* 印刷は、カラー・モノクロいずれも可。A4 用紙に片面印刷してください。
- \* 受験票・合格通知書等に印字される漢字については JIS 第 2 水準以下に略することがあります。

### [試験日当日について]

- ・ 集合時間、場所については、受験票をご確認ください。
- ・ 受験票は必ず携帯してください。
- ・ やむを得ず試験を欠席、または遅刻をする場合は、必ず本学入試課へ連絡をしてください。
- ・ 試験中、携帯電話等はマナーモードへ設定しておくか、電源をお切りください。

# WEB (インターネット) 出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



**STEP**  
**1**

## 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。  
必要書類※は、発行まで時間を要するものもあります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類… 調査書、推薦書、大学入学共通テスト成績請求票など。入試制度ごとに異なります。

**STEP**  
**2**

## WEB(インターネット)出願サイトにアクセス

WEB (インターネット) ▶ <https://e-apply.jp/ds/sagami-wu1/>  
出願サイト

または、  
大学ホームページ ▶ <https://www.sagami-wu.ac.jp/>  
からアクセス

**STEP**  
**3**

## マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。  
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

① 初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。

② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。

③ ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。

④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。  
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。

⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。

⑦ 表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。

⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。



⑨登録完了となります。  
「マイページへ」を  
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら  
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「出願手続きを行う」ボタンをクリックすると出願手続に進めます。  
出願期間外の場合は、これより先に進めませんので「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

## STEP

# 4



## 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の  
「出願手続きを行う」ボタン  
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード※  
「写真選択へ」ボタンをクリックし  
写真を選択します。  
※この顔写真が受験票に印刷されます。



⑤個人情報(氏名・住所・アンケート等)の入力



⑥出願内容の確認



⑦出願登録完了  
「引き続き支払う」ボタンを  
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法  
●コンビニエンスストア  
●ペイジー対応銀行ATM  
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF  
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

※大学入学共通テスト利用選抜の出願では  
顔写真のアップロードは不要です。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の  
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控え、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス  
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ(13桁)													
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ(11桁)													
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)													
確認番号 メモ(6桁)													
収納機関番号 (5桁)	5	8	0	2	1								

※収納機関番号は、ペイジーで  
お支払いの際に必要となります。

出願登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を  
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



出願登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願  
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

# STEP

# 5

## 入学検定料の支払い

### 1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

### 2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

### 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、

FamilyMart



### 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

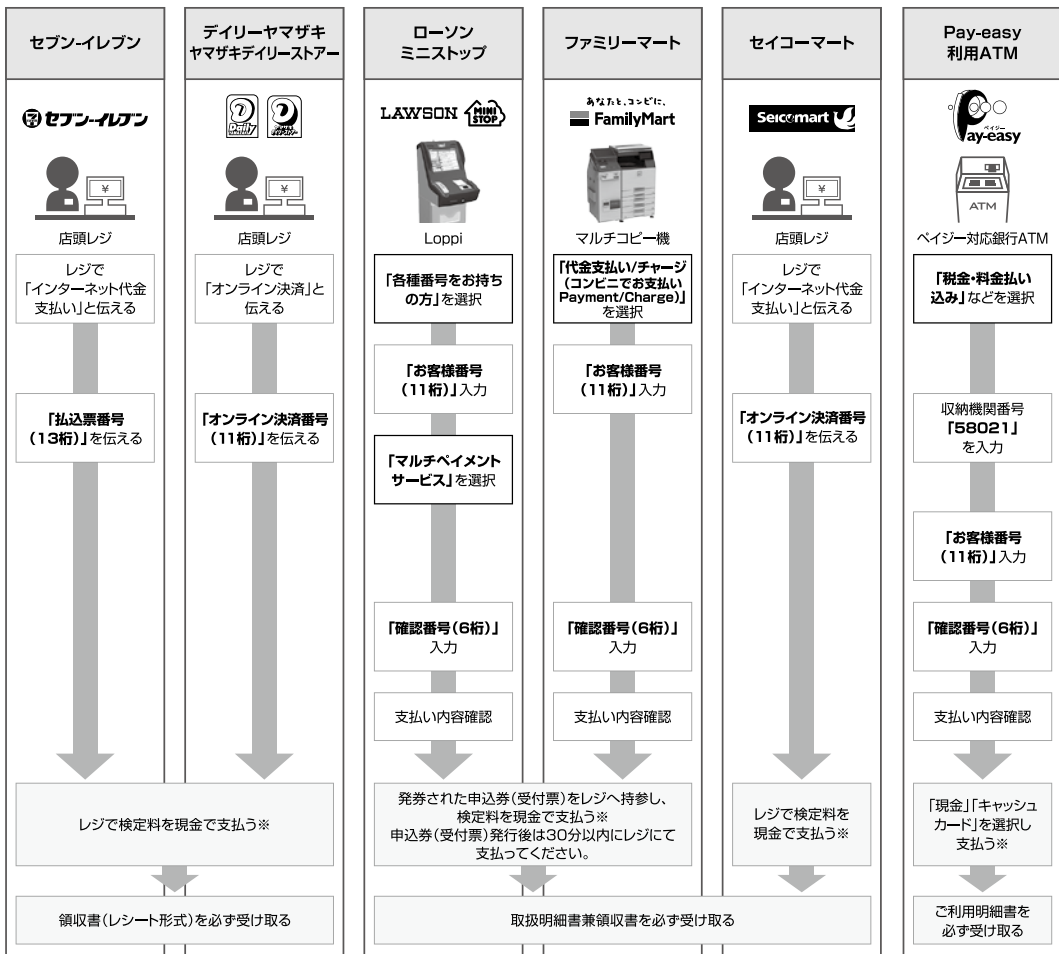
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

### 3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

## STEP

# 6

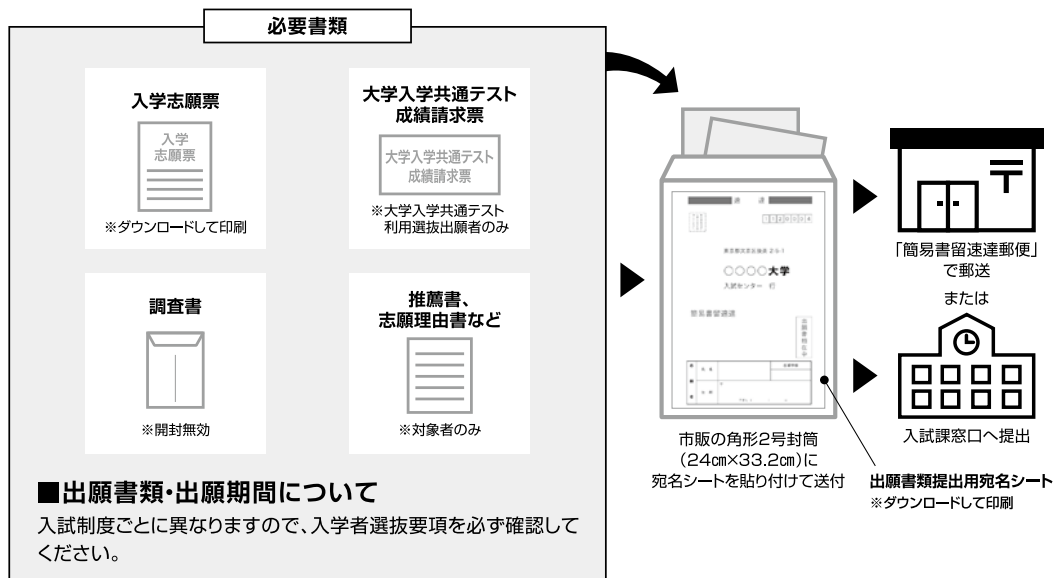
## 必要書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送、または相模女子大学入試課窓口へ直接提出してください。※出願締切日必着。

### 「入学志願票」等の印刷方法

お支払いが正常に完了すると、マイページの「入学志願票(印刷)」のボタンがクリックできるようになり、入学志願票・宛名シート・案内文がダウンロードできます。



※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

## 〈出願完了〉

### 出願時の 注意点

出願はWEB(インターネット)出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

WEB(インターネット)出願は24時間可能です。ただし、出願期間は入試制度ごとに異なります。ゆとりを持った出願を心がけてください。

## STEP

# 7

## 受験票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後から試験前日までに受験票を配信します。WEB(インターネット)出願サイトのマイページよりダウンロードし、必ず印刷の上、試験当日持参してください(郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

### 【印刷に関する注意事項】

●受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。カラー・モノクロどちらでも構いません。出願時に登録した顔写真が受験票に印刷されます。

※大学入学共通テスト利用選抜では、受験票は合格発表時に必要です。印刷後はお手元にお持ちください。





## 7 合格発表について

選考結果は、インターネットによる合否確認システムにより行います。インターネットによる合否確認システムは、受験者がパソコンもしくはスマートフォンからインターネットに接続し、画面の指示に従って受験番号と誕生日を入力することにより、合否結果を確認できるサービスです。このサービスは、合格発表日当日の定められた時間帯以外は利用できません。利用日時や利用方法をあらかじめ確認の上、ご利用ください。なお、学内掲示、本学ホームページ等での発表は行いません。また、本学への電話等による合否照会にも一切応じられませんので、ご了承ください。合格者には入学手続き書類を送付します。合格発表日より、5日経っても通知が届かない場合は入試課までご連絡下さい。合格発表日はP.15「入試日程等」にてご確認ください。

\*長期履修制度利用の申し出があった方には、制度利用願を同封します。

### ○インターネットによる合否確認

#### 1. 利用上の注意

パソコン、スマートフォンで利用できます。



スマートフォン用QRコード

#### 2. 利用方法

- ①インターネットに接続し、URL <https://www.gouhi.com/sagami/> を入力してください。
- ②合否案内センターの画面が出たら、受験番号と誕生日（4桁）を半角英数で入力し、OKをクリックしてください。
- ③確認画面が表示されたら、受験した学科・受験番号が正しいかを確認し、正しい場合は「はい」を、訂正する場合は「いいえ」をクリックしてください。「いいえ」をクリックした場合は、再度入力ができます。
- ④合否結果が画面に表示されます。

## 8 入学手続きについて

### ○入学手続日程

入試日程	入学金振込期間・手続き書類提出期間※
I期	10/5（土）～10/11（金）振込有効・必着
II期	2/8（土）～2/14（金）振込有効・必着

※ 上記期間はすべて振込有効・必着です

※ 長期履修制度を希望する場合は入学金および学費振込期間が上記と異なる場合があります

○入学納入費用（2025年度予定）

（単位：円）

	入学金	学 費			合 計
		授業料	施設設備費	実験・実習費	
	入学時のみ	春学期分	春学期分	春学期分	入学時納入金
【博士前期課程】 【博士後期課程】	230,000	372,500	135,000	20,000	757,500

- ①栄養科学研究科 [ 博士前期課程 ] について、本学卒業生および卒業見込み者は、入学金が 50,000 円となります。
- ②栄養科学研究科 [ 博士後期課程 ] について、本学大学院 ( 博士前期課程※ ) 修了および修了見込み者は入学金が免除となります。 ※修了課程修了者も該当します。  
また本学大学を卒業された方は入学金が 50,000 円となります。
- ③授業料・施設設備費・実験実習費は、春学期・秋学期の2回に分けて同額を徴収します。  
上記は春学期分のみ記載しております。
- ④学費は、在学中に変更となる場合があります。  
\*学手続についての詳細は、合格者に送付する大学院栄養科学研究科入学手続要項を参照してください。

**特別奨学生制度について**

本学大学院では、入学試験の結果によって入学後の負担を軽減する特別奨学生制度があります。

●特典

在学中の授業料を全額免除します。ただし、2年次以降は成績が一定の基準を満たしていることが条件となります。

●選考方法

一般入学試験Ⅰ期およびⅡ期が対象となり、試験の成績が特に優秀と認められた場合に限り、本制度を適用します。

**奨学金制度**

能力があり学ぶ意欲があるにもかかわらず、経済的に修学が困難である学生のために、奨学金制度を用意しています。

相模女子大学奨学金	貸与	貸与年額（無利子）	出願資格
貸与期間は1年間ですが、「継続願」提出者に対しては、再度成績や家計などを審査し継続を認める場合があります。返還は卒業後に始まります。		授業料相当額。ただし卒業年次に限り希望者には学費相当額の貸与が認められる場合あり。	学力：学業が特に優れ、将来有望な者。 家計：日本学生支援機構第一種奨学金に準じる。
相模女子大学緊急給付奨学金	給付	給付額	出願資格
修学の意思があるにも関わらず、家計急変などの経済的理由により修学が困難な学生に給付し、修学継続を支援します。原則として、在学中1回限り給付を行います。		春学期または秋学期いずれかの授業料相当額	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主たる家計支持者の死亡、疾病、事故、失職など</li> <li>● 地震、火災、風水害などの災害</li> <li>● その他本学が認めた経済的理由</li> <li>● 過去に奨学金給付を受けていない者</li> </ul>
日本学生支援機構奨学金	貸与	第一種（無利子）	(出願資格) 学力：学業が特に優れ、将来有望な者。 家計：機構が定める所得上限以内。
		第二種（有利子）	(出願資格) 学力：学業が特に優れ、将来有望な者。 家計：機構が定める所得上限以内。
貸与期間は卒業まで。ただし、毎年度末に行う「適格認定」により成績や家計などを再審査し、継続の判断をします。返還は卒業後に始まります。		(貸与月額（予定）) 博士前期課程 5万円または8万8千円 博士後期課程 8万円または12万2千円	
		(貸与月額（予定）) 5万円・8万円・10万円・13万円・15万円から選択	

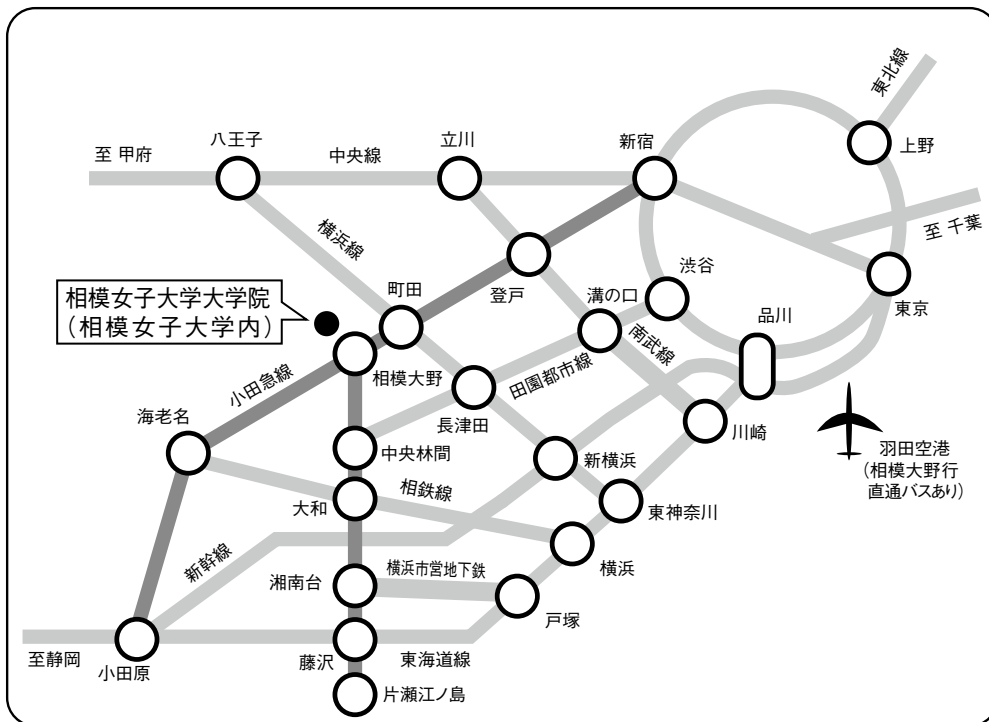
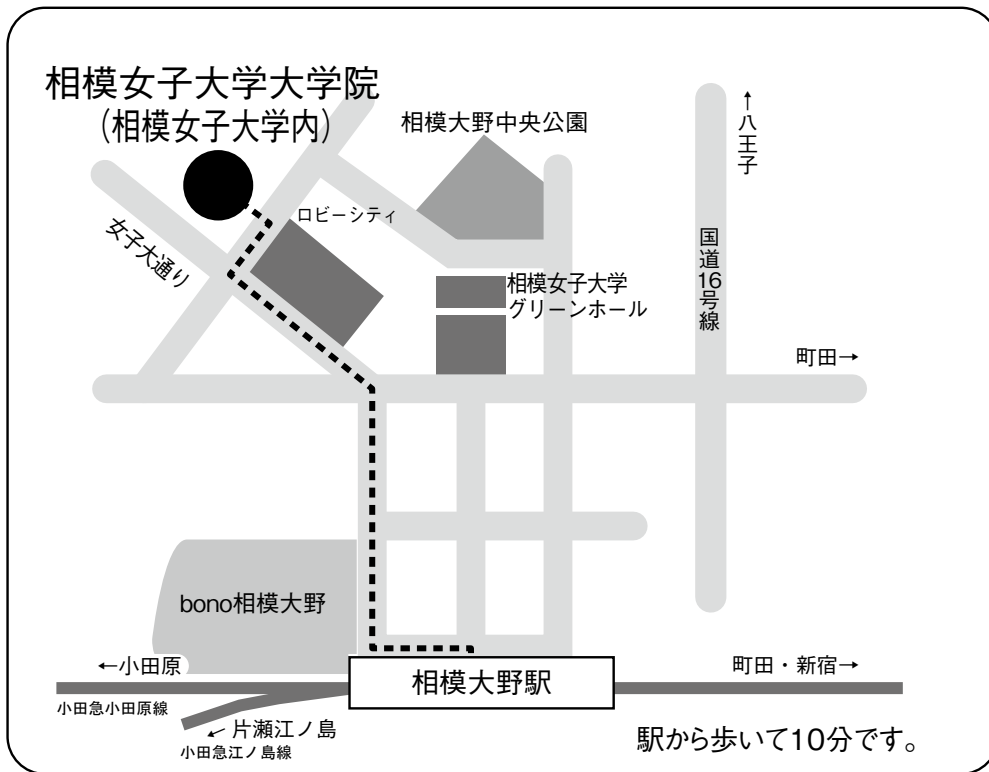
日本学生支援機構奨学金の緊急採用（無利子）・応急採用（有利子）★**貸与** 家計急変（主たる家計支持者の失職、破産、事故、病気などまたは災害）により、緊急に奨学金の貸与を希望する場合は募集時期にかかわらず奨学金の申請ができます。

## 9 個人情報の取り扱いについて

相模女子大学では、ご記入いただいた個人情報を厳重に取り扱い、適正な個人情報の管理を実施します。なお、お預かりした個人情報の取り扱いを外部へ委託する場合は、個人情報を適正に取り扱っていると認められる委託先を選定し、守秘義務契約などを取り交わすとともに、適正な管理および監督を行います。

- ① 利用目的（ご記入いただいた個人情報は、下記の目的で利用されます。）
  - 入学試験に関する業務、および入学手続者については入学準備のための業務。
  - 入学試験の成績については、個人が特定できない統計データに加工し、今後の入学試験の検討資料作成等に利用します。
- ② 個人情報管理責任者  
相模女子大学副学長
- ③ 本件に関するお問合せ先  
相模女子大学 大学事務部 入試課  
フリーダイヤル 0120-816-332（平日 9：00～17：00）

# 案内図



- ◆新宿から32分(小田急線)
- ◆横浜から35分(相鉄線・小田急線)
- ◆藤沢から21分(小田急線)
- ◆渋谷から40分(井の頭線・小田急線)
- ◆八王子から35分(横浜線・小田急線)
- ◆小田原から50分(小田急線)
- ◆新横浜から25分(横浜線・小田急線)

## 相模女子大学大学院

(問い合わせ)相模女子大学 大学事務部 入試課

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1

TEL 0120-816-332(フリーダイヤル)・TEL 042-749-5533(直)